

山行報告書

受付 No.	3	登山地・ルート	ハヶ岳 小同心クラック
目的	冬期登攀技術の向上		
メンバー	L : 大山、巢山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
4・5・土	晴れ	浜松＝美濃戸口P～赤岳鉱泉（大同心稜下見） 9:27 12:25
4・6・日	晴れ	赤岳鉱泉～（大同心稜）～取付～横岳～（大同心稜）～赤岳鉱泉～美濃戸口P＝浜松 6:19 8:28 11:50 13:52 16:50

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

<p>【美濃戸P～赤岳鉱泉】 大山の体調不良により、ペースが上がらず、美濃戸山荘から鉱泉まで、いつもは2ピッチで行くところ、3ピッチとなる。鉱泉にてテント設営後、大同心稜の下見に行く。トレースがあり、迷うことはなかった。2500mくらいまで登り、下りてくる人からルートの情報も得ることができた。</p> <p>【赤岳鉱泉～取付】 朝4時起床。大山の体調も持つだろうとの判断で、行動を開始する。既に周囲のテントは出発しており、出遅れた感だった。大同心稜は途中から急登になり、大同心基部まで2ピッチで行く。小同心の取付に人がいるのが見えたので、自分たちが行くころにはスタートしているだろうと思いつつも1ピッチで取付に行くにまだいた。しかもまだ支度していた。</p> <p>【取付～横岳】 彼らが先行したが、ピッチをととても細かく切り、彼らがスタートして3ピッチで行ったところをこちらは1ピッチで登る。大山からスタート。最初はフェース、チムニーに入る。ホールドは大きくしっかりしている。雪も氷も付いていなくて、立岩でのアイゼントレーニングのようだった(感覚としては立岩のチムニーを登っている感じ)。核心の1段下でピッチを切る。巢山さんが順調に登ってくるが、先行のセカンドがまだスタートしないため、巢山さんには1段下で待ってもらいながら待つ。2ピッチ目、巢山さんリード。1段上がった辺りでロープが止まる。またもや先行待ち。2ピッチ目はチムニーを登った後、「さるの腰掛け」状の岩に乗って越えるところが核心らしい。巢山さんのビレイ点から短く1ピッチで雪稜に出たので一旦ロープを回収する。横岳直下の岩場で再びロープを出し1ピッチで横岳の山頂に出る。快晴微風の山頂だった。</p> <p>【横岳～赤岳鉱泉】 当初の計画では、大同心ルンゼへの下り口がよく分からなかったため、硫黄岳を回ることにしていたが、トレースがあり、行けそうだったので、山頂から残留の花村さんに連絡して大同心ルンゼを下ることにする。這い松帯から岩場のクライムダウンなどをこなして大同心の基部へ、そこから大同心稜を下って鉱泉へ戻る。下山前に昨夜の残りでカレーうどんを作ったのんびりする。</p> <p>【反省】 忘れ物が多かった。竹ベグ、ガスカートリッジ(鉱泉で現地調達)、ビーコン(大山)</p>
--

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者
-----	----	----	----	---	---	---	-----